岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 32

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教　科	農業	科　目	農業と環境	単位数	3	学年・学科	1学年・A科
教科書	実教出版「農業と環境」	副教材	農業と環境学習ノート				

学習目標	○農業と環境の関わりを理解し、生物の特性や栽培環境についての農業の基礎・基本を習得します。 ○農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成します。 ○農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活躍する能力と態度を育てます。
学習方法	○学習内容を分かりやすく説明・板書します。また、学習プリントを活用し、わかりやすい授業を行います。 ○グループワークや発表といった共同学習を通して、学び合う活動を行います。農業生物の栽培や飼育の実習を通して、栽培技術を習得すると共に、栽培方法などを考える活動を行います。 ○農業と環境「学習ノート」の演習や問題プリントの演習に取り組みます。 ○小テストや定期考査によって、知識・理解及び思考・判断・表現の力を試します。

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	農業及び環境に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、農業の意義や役割を理解し、諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	b	思考・判断・表現	農業生物の育成と環境の保全に関する課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	農業生物の育成と環境の保全について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

		重み付け	考査	考査外
前期中間		100%	55%	45%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%
前期末		100%	55%	45%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%
後期中間		100%	55%	45%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%
後期末		100%	55%	45%
	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	10%	20%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	第1章　農業と環境を学ぶ 第2章　私たちの暮らしと農業・農村 1　人間と植物・動物とのかかわり 第3章　栽培と飼育の基礎 1　作物の特性と栽培のしくみ	・農業クラブについて学びます。 ・農業と環境の学び方について学習します。 ・動植物の生命活動、生物間のつながり、生物のからだを構成する物質の循環について学習します。 ・作物の特性と栽培の仕組みについて学びます。 ・スイートコーン・エダマメ・スイカ栽培の実際について学習します。	○ ○	○ ○	○	c：農業と環境の結びつきについて興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。 b：農業生物の育成に関する課題の解決を目指して思考を深め、基礎 的・基本的な知識と技術を基に、表現する創造的な能力を身に付けている。 a：農業に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、農業の意義や役割を理解し、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期テスト
前期末	第2章　私たちの暮らしと農業・農村 2　農業と食料供給 第3章　栽培と飼育の基礎 2　作物をとりまく環境とその管理	・人間社会の発展を支える農業の役割について学習します。 ・自然環境と農業技術の特徴を学習します。 ・食品産業の現状を知り、食生活のあり方を学習します。 ・スイートコーン・エダマメ・スイカ栽培の実際について学習します。	○ ○	○ ○	○	c：作物栽培に興味・関心をもち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 b：作物栽培と環境の保全に関して 思考を深め、基礎的・基本的な知と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な態度を身に付けている。 a：作物栽培及び環境に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、農業の意義や役割を理解し、その技術を適切に活用している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期テスト
後期中間	第3章　栽培と飼育の基礎 3　家畜の特性と飼育	・家畜に関する基礎知識を学習します。 ・家畜の飼育と環境の関係を学習します。 ・ブロイラー飼育の実際について学習します。	○ ○	○ ○	○	c：家畜飼育に関して興味・関心をもち、主体的に取り組もうとするとと もに、 実践的な態度を身に付けている。 b：家畜飼育に関する課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な態度を身に付けている。 a：家畜飼育に関する、基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、農業の意義や役割を理解し、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期テスト
後期末	第2章　私たちの暮らしと農業・農村 3　農業・農村の役割 4　これからの社会と農業・農村 ●プロジェクト活動のまとめ	・農業・農村のもつ環境保全、景観形成、文化の伝承など、農産物の生産と供給以外の多面的な機能と ・農業や農村をとりまく課題を整理し、これからの農業・農村のあり方について学習します。 ・新たな農業・農村の創造に向けて、どんなことが重要かについて学習します。 ・1年間のプロジェクト活動についてまとめ、発表の準備をします。	○ ○	○ ○	○	c：農業と環境の結びつきについて、興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。 b：農業生物の育成に関する課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、表現する創造的な能力を身に付けている。 a：農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、農業の意義や役割を理解し、農業に関する諸活動を合理的に計画して、その技術を適切に活用している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期テスト